

### ◆ 青山学院大学ハンドベル・クワイア

1979年創設され青山学院宗教センターに所属。学内での礼拝、行事、オール青山ハンドベルコンサート、クリスマスチャペルコンサートでの演奏の他、学外の教会などでの奉仕や演奏旅行等、幅広く活動。讃美歌のほかクラシックやポップラーなど様々なジャンルの曲を演奏。大学オルガニスト鷺晶子を指導者に現在19名の隊員で活動。

チャプレン 藤原淳賀、島田由紀

コーチ 鷺晶子

4年 辻たまき、野村菜央、藤井愛貴、馬場朱里

3年 石川彩、伊藤万葉、佐藤恵泉、鷺野仁里

2年 黒川こころ、小林りり花

1年 奥出伸弘、佐藤彩音、柴田璃子、上山この葉、  
高山明日香、富田みく、初谷海天、原田彩乃、  
松岡亜美



### ◆ 鷺晶子 (指揮)

東京藝術大学音楽学部器楽科を卒業、オルガンを羽生ゆり子、秋元道雄、H・ピュイグ＝ロジェの各氏に師事。スイス・リヒテンシュタインにおける夏期講習会でM・ヘンキング、M・ラドゥレスクの各氏に師事。日本基督教団柿ノ木坂教会、同高輪教会で奏楽奉仕、現在同渋谷教会（陪餐会員）、及び青山学院大学、恵泉女学園中学・高校でオルガニスト。同高校に在学中ハンドベルを木村栄子氏に師事。2010年より青山学院大学ハンドベル・クワイアの指導。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会各会員、ユビラーテ奏楽者の会（木田みな子氏主宰）に所属。

### —— 富士見町教会のご紹介 ——

富士見町教会は1887（明治20）年、植村正久により創立されました。日本基督教団に属する、プロテスタントのキリスト教会です。

- 主任牧師 藤盛 勇紀
- 牧師 星野 江理香
- 牧師 小宮 一文

東京都千代田区富士見2-10-1

TEL 03-3261-0633

<http://www.fujimicyo-kyokai.org>



### —— 集会のご案内 ——

- |                 |     |               |
|-----------------|-----|---------------|
| 主日礼拝            | 朝礼拝 | 午前10時20分～12時  |
|                 | 夕礼拝 | 午後6時～7時       |
| 昼礼拝             | 火曜日 | 午後0時30分～0時55分 |
| 教会学校            | 日曜日 | 午前9時～10時      |
| キリスト教入門講座「志道者会」 |     |               |
|                 | 水曜日 | 午後6時30分～7時30分 |
| 聖書研究・祈祷会        |     |               |
|                 | 木曜日 | 午後6時30分～7時30分 |

# 青山学院大学ハンドベル・クワイア



## 富士見町教会 Advent Handbell Concert

2024 12/7 SAT. 16:30 start





# 2024 年 アドベント・ハンドベル・コンサート プログラム

指揮：鷺晶子

演奏：青山学院大学ハンドベル・クワイア

## プログラム

### I Advent Meditation

《讃美歌 231 久しく待ちにし 讃美歌 255 生けるものすべて 讃美歌 236 見張りの人よ》  
ラテン語聖歌 / フランスキャロル / Joseph Parry 作曲 Douglas E. Wagner 編曲

### II 奏法紹介 ミッキーマウスマーチ

Jimmy Dodd 作曲 William Payn 編曲

### III The First Noel 《讃美歌 258 まきびと羊を》

イギリスキャロル Cathy Moglebust 編曲

### IV Ukrainian Bell Carol 《ウクライナの鐘のキャロル》

Mykolo Leontovich 作曲 Hart Morris 編曲

## ～ 牧師からのメッセージ ～

### V Dance of the Reed Flutes 《バレエ音楽『くるみ割り人形』より 葦笛の踊り》

Pyotr Ilyich Tchaikovsky 作曲 William H. Griffin 編曲

### VI Selections from The Phantom of the Opera

《ミュージカル映画『オペラ座の怪人』より》  
Andrew Lloyd Webber 作曲 Douglas E. Wagner 編曲

### VII What Child Is This? 《第二編 216 みつかい歌いて》

イギリスキャロル Cynthia Dobrinski 編曲

### VIII A Christmas Festival

《讃美歌 261 もろびとこぞりて 第二編 129 ひいらぎ飾ろう  
第二編 128 世の人忘るな 讃美歌 262 聞け天使の歌  
讃美歌 264 きよしこの夜 ジングルベル 讃美歌 259 いそぎ来たれ主にある民》  
Leroy Anderson 作曲 Martha Lynn Thompson 編曲

### IX Gloria ご一緒に歌いましょう 《讃美歌 263 あら野のはてに 1 節と 2 節》

フランスキャロル Frances L. Callahan 編曲

## ハンドベルのご紹介

ハンドベルは 17 世紀イギリスの教会タワーベルを原型として生まれた楽器で、正式名称はイングリッシュハンドベルといえます。本日は米国シューマリック社製ハンドベル 5 オクターブ及び米国マルマーク社製ハンドチャイムは 4 オクターブを用いて演奏致します。

## プログラム曲紹介

### I Advent Meditation

クリスマスを待ち望むアドベントの期間に歌われる、「久しく待ちにし」「生けるもの全て」「見張りの人よ」という 3 つの讃美歌のメドレーとして、アメリカの作曲家ダグラス・ワーグナーが編曲したハンドベル曲です。アドベントの静けさと、神秘的で荘厳な雰囲気の中に、救い主が来られることへの希望が表現されています。

### II 奏法紹介 ミッキーマウスマーチ

### III The First Noel

イギリスの伝統的なクリスマスキャロルの編曲で、日本では「牧人ひつじを」として親しまれています。1833 年、ウィリアム・サンズによって英語版が発表され、世界中に広まりました。英語の題名にある「Noel」は「誕生日」を意味するラテン語を起源としています。キリスト生誕を生き生きと描き出す歌詞は、キリストがこの世界のすべてを救うために来られたことを思い出させてくれます。

### IV Ukrainian Bell Carol

「Carol of the Bells」とも呼ばれるこの曲は、新年を祝うウクライナ民謡をもとに編曲され、英語の歌詞がつけられたことで今日最もよく歌われるクリスマスソングの一つとなり、映画『ホーム・アローン』で挿入歌としても使われています。しかしウクライナでは現在、侵攻によって多くの人が悲惨な状態にあり、世界の至る所で終わりの見えない戦争が続いています。一日も早く戦争が終わるよう、平和への願いをこめてお届けします。

### V Dance of the Reed Flutes

チャイコフスキー作曲のバレエ音楽『くるみ割り人形』の中の一曲です。物語は少女クララがクリスマスイブにくるみ割り人形と共に繰り広げる不思議な夢の世界を描いています。第 2 幕では、クララが「お菓子の国」を訪れ、そこで様々なキャラクターの美しい踊りが披露されます。「葦笛の踊り」は、中でも特に軽やかで優雅なシーンを彩る曲で、リズムカルで繊細な音の動きを特徴としています。

### VI Selections from The Phantom of the Opera

アンドリュー・ロイド・ウェバー作曲のミュージカルの名作『オペラ座の怪人』からのメドレーです。舞台はパリ・オペラ座。仮面を被った謎の怪人エリックの切ない愛と狂気、そして若きソプラノ歌手クリスティーンとの運命的な関わりを通して真実の愛に目覚めていく様子が、美しいメロディーに乗せて紡がれています。今回は「The Phantom of the Opera」、「Think of Me」、「The Music of the Night」を演奏いたします。

### VII What Child Is This?

16 世紀のイギリス民謡「グリーンスリーブス」のメロディーに基づいて作られたクリスマスキャロルで、「御使いうたいて」の邦題で知られています。歌詞はイエス・キリストの誕生を祝い、その苦難の生涯を讃える内容で、1865 年に詩人ウィリアム・チャートン・ディックスが作詞しました。旋律は優雅で哀愁を帯び、クリスマスの喜びと神秘が表現されています。

### VIII A Christmas Festival

リロイ・アンダーソンによってアレンジされた、8 つのクリスマスキャロルを集めた魅力的なメドレーです。「諸人こぞりて」「ひいらぎ飾ろう」「世の人忘るな」「ウェンセスラスの王様は」「聞け天使の歌」「きよしこの夜」「ジングルベル」「急ぎ来たれ主にある民」が次々に現れ、聴く人々を温かく祝祭的な雰囲気へと誘います。

### IX Gloria

この曲の元になっているのは、「あらのはてに」です。これは、おもに南フランスで歌われていた伝統的な祝祭歌で、天の御使いが良い知らせをもたらしにやってくる、という歌でした。それが転じて、主の誕生という素晴らしい知らせを届ける天使たちを歌った、クリスマスの讃美歌となって愛されています。繰り返し歌われる「グロリア・インエクセルシスデオ」は、「いと高き所には栄光、神にあれ」という意味のラテン語です。